

国語 十三—一	第一学年及び第二学年の内容 かぎ(一) (二)	名前 なまえ	年 ねん	組 ぐみ	番 ばん
------------	----------------------------	-----------	---------	---------	---------

とく  
り  
組  
んだ  
日  
月  
日

つぎの文章は、かぎ(「(」をつかっています。正しい場所にかぎ(「(」をかきましよう。

このお話は、手塚治の小さいころのできごとです。

「お母さん、頭あたまがいたいよ。」

「だいじょうぶ、きつとよくなるからね。」

お母かあさんは治おさむのまくらもとで、やさし

く声をかけました。

国語 十三—二	第一学年及び第二学年の内容 かぎ(「」)			
		名前 なまえ	年 ねん	組 ぐみ
				番 ばん

取り組んだ日  
月 日

つぎの文章は、かぎ(「」)をつかっています。正しい場所にかぎ(「」)をかきましよう。

フローレンスは家に帰ると、お母さんにたずねました。

「キースさんは、なぜおこっていたのでしょうか。」

「そうね。どうしてかしらね。お母さんもわから

ないわ。」

お母さんは、答えました。

国語 十三—三	第一学年及び第二学年の内容 かぎ(一) (二)			
		名前 なまえ	年 ねん	組 ぐみ
				番 ばん

取り組んだ日  
月 日

つぎの文章は、かぎ(「」)をつかっています。正しい場所にかぎ(「」)をかきましよう。

手てなかの中でこわがっているように見えるツユム

シはなに、アンリは話しかけました。

「ぼくとりおも、鳥だと思ったよ。おもしろい声こえで鳴くん

だね。」

アンリはツユムシもとくを、元もとの草くさむらにそつとはな

してやりました。

国語 十三―四	第一学年及び第二学年の内容 かぎ(一) (二)	名まえ	年 ねん	組 くみ	番 ばん
------------	----------------------------	-----	---------	---------	---------

ぶんしょう  
つぎの文章は、かぎ(「(一)をつかっ  
てい  
ません。正しい場ただ所ばしよにかぎ(「(一)をかきまし  
よう。

けんじ  
賢治けんじはけんじにつこりとして、それからみんな  
にい  
に言いいました。

そと  
「さあ、外そとでいつしよにあそぼうよ。」  
げんき  
みんなはいつもげんきのように元氣げんきに外そとへと

だ  
び出だしていきます。

国語 十三―五	第一学年及び第二学年の内容 かぎ(一) (二)	名前 なまえ	年 ねん	組 ぐみ	番 ばん
------------	----------------------------	-----------	---------	---------	---------

取り組んだ日  
月 日

つぎの文章は、かぎ(「」)をつかっています。  
正しい場所にかぎ(「」)をかきましよう。

ある日のことでは、びよう気のおじいさんがひとりですんでいる家に、行くことになりました。

「こんにちは。キースさん。フローレンスです。ふくとパンをもってきました。」

ドアの外から声をかけました。